

## 職員全体研修乳幼児応急手当講習会を受けて

2025年6月28日(土)

講師：Office On 彦坂康朗先生

保育園内ホールを使い、乳幼児期においての心肺蘇生法・気道内異物の除去方法を職員研修で学びました。

誤飲による窒息事故は、園内で決して発生させてはならない事故ですが、「もしも」に備え知識として身につけておくことが重要だと考えています。

講習当日は、乳児・小児の実寸サイズの人形を使い、子どもにはどのような体の特徴があり、保育園に在籍する園児が一体どのような場面において、どんな救急処置を必要とする事となるのかをお教えいただきました。

健康な子どもの急な呼吸停止や心停止が発生する状況としては、喉に物を詰まらせるというケースが事例として一番多いという事です。そのような時には正しい流れで応急手当を行い、救急車・救急隊員の方々が到着し、心臓マッサージを代わってもらうまで処置を続けている必要があります。



実際に、応急処置の練習を進めていくと人形であっても1人で行う救助がとても大変なことが分かりました。生身の人に処置をと思うとパニックにも陥る恐れも考えられ、冷静に対応することは難しいと予測できます。このような事故は、保育園外でも起こりうることです。周りに居る人同士が協力し助け合うという思いを持つ事が大切です。

私たち保育士も「いざ」という時には、今回の講習会で学んだことを生かしたいと思います。

## 2-a. CPR/心肺蘇生(乳児)

乳児の保護者に「私は手当の訓練を受けましたので、安心して下さい。」

- (1) 「大丈夫?」と大きな声で呼びかけ、やさしく肩をたたく



- (2) 反応なし → 119番を頼む  
AEDを頼む(近くにあれば)

- (3) 呼吸を確認する .....

胸や腹の動きを、10秒以内に観察する

★呼吸があるか、ないか

★普段通りの息をしているか

★死戦期呼吸は心停止のサイン



- (4) 呼吸が正常でない → CPR/心肺蘇生を開始する

胸の真ん中(胸骨の下半分)に指2本をおき、胸骨を圧迫

①胸の厚さの1/3の深さ

②1分間に100回～120回のテンポで  
30回圧迫する



- (5) 気道確保し、人工呼吸を2回 .....

①チンリフト

②口と鼻の両方をおおって吹き入れる

③1回の吹き込みに1秒かけて2回連続



- (6) 30回圧迫、2回吹き込みを続ける .....

①強く、早く、絶え間なく

②胸骨圧迫の中断を最小限にする



- (7) 医師または救急隊に引き継ぐまで、中断せずに続ける

## 2-b. CPR/心肺蘇生(小児)

こどもに「私は手当の仕方を習っているから安心してね。」

(1) 「大丈夫?」と大きな声で呼びかけ、やさしく肩をたたく



(2) 反応なし → 119番を頼む  
AEDを頼む(近くにあれば)

(3) 呼吸を確認する .....

胸や腹の動きを、10秒以内に観察する

★呼吸があるか、ないか

★普段通りの息をしているか

★死戦期呼吸は心停止のサイン



(4) 呼吸が正常でない → CPR/心肺蘇生を開始する

胸の真ん中(胸骨の下半分)に片手または両手の付け根をあて、

胸骨を圧迫

①胸の厚さの1/3の深さ

②1分間に100回～120回のテンポで  
30回圧迫する



(5) 気道確保し、人工呼吸を2回 .....

吹き込み用具を準備

①チンリフト

②鼻をつまみ、口から吹き入れる

③1回の吹き込みに1秒かけて2回連続



(6) 30回圧迫、2回吹き込みを続ける .....

①強く、早く、絶え間なく

②胸骨圧迫の中断を最小限にする



(7) 医師または救急隊に引き継ぐまで、中断せずに続ける